



西側を望むイメージ



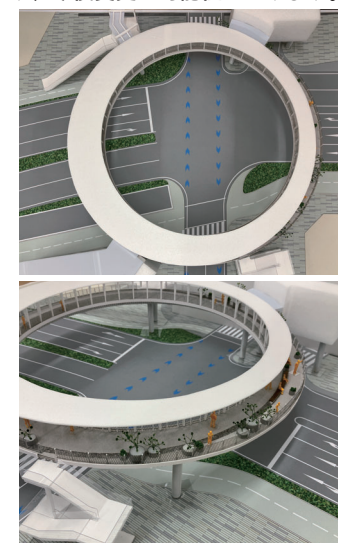
東側を望むイメージ



デッキアイレベル (昼景)




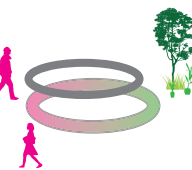
デッキアイレベル (夜景)




### 四日市の新たなシンボルとなる円形デッキ

整備が進んでいる中央通り“ニワミチよっかいち”のエントランスにふさわしい四日市のシンボルとなる円形デッキを整備します。

- 

**1. 市民の憩いの場所となる“まちを眺める上空のニワ”**  
中央通りの上空という海側へ開けた眺望を活かして、円形デッキ東側に市民が憩える場所や待ち合わせ場所となる“まちを眺める上空のニワ”を整備し、“ニワミチよっかいち”のエントランスとします。
- 

**2. 人と自然を結ぶ“ふたつの円の重なり”**  
円形デッキの床と屋根のふたつの円をずらして重ねることで、屋根に覆われた歩行スペースと緑化されたオープンスペースを共存させ、人と自然が出会う「自然と調和したまちづくり」を象徴するデザインを目指します。
- 

**3. 産業や伝統を活かした“四日市らしいデザイン”**  
デッキのデザインは、四日市の先端技術産業のイメージを都市的でシンプルに洗練されたデザインとして反映します。また、屋根の柱のデザインは、四日市の伝統的な工芸品である「日永うちわ」の立体的な分岐構造をモチーフとした特徴的な形状とします。